

評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成20年8月8日

事業所番号	2771200306	評価機関名	特定非営利活動法人
法人名	株式会社 ティー・エッチ・アイ		近畿マネジメント・サポート・センター
事業所名	グループホーム なぎさ	所在地	大阪市東住吉区山坂5-5-14-103
所在地	大阪府泉南郡岬町淡輪4658番1 電話 0724-88-2555	評価調査日	平成 20 年 8 月 4 日
		評価確定日	平成 20 年 8 月 13 日

【情報提供票より】 (平成20年7月8日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成14年9月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数	18 人
職員数	16人	常勤	10人
		非常勤	6人
		常勤換算	12, 2人

(2) 建物概要

建物の構造	単独	鉄骨造
	2階建ての(1階~2階部分)	

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	30,000円	その他の経費 (月額)	20,000円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金を含む)	無			
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1月当たり		30,000 円	

(4) 利用者の概要 (7月8日現在)

利用者人数	16名	男性	2名	女性	14名
要介護1	2名	要介護2	4名		
要介護3	6名	要介護4	1名		
要介護5	3名	要支援2	0名		
年齢 平均	82才	最低	64才	最高	94才
(5) 協力医療機関名	医療法人・なぎさ会 高松歯科医院 医療法人・野上病院				

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

当ホームは岬町唯一のグループホームで、母体法人による医療クリニック、デイケアと同じ敷地内にあるので、利用者、ご家族とも安心して任せている。付近の環境は静かな住宅地で、介護スタッフの常勤化が進められる中で、安定した介護が行われているが、特に、職員のレベル・アップには熱心で、昨年度は3名が介護福祉士の資格を取得し、今年度も受験予定者が研修中で、介護の向上を目指し努力して

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	主な改善課題への取り組みとして、経営理念の玄関及び事務コーナーに掲示することについては実現している。又、利用者の入浴については、一人ひとりに対応した入浴(機械浴も含め)を実施しており、介護計画の変更についても、各自のアセスメントの集約が行われ、その結果を活かした計画を作成している。更に、出入り口の鍵かけについては、職員が解放への意識を持って検討中である。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目: 外部4)
	管理者が交代したばかりなので、前管理者、職員、計画作成者が協議し、問題点と改善案の検討を行いながら記入された。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	平成19年度は第2回を9月26日と、第3回を20年3月26日に開催した。各回ともホームの活動結果について資料を基に詳細に亘って説明した上で、質疑応答を行っている。両日とも地域の方々のご都合が悪く出席者が少数だったが、今後も地域福祉の向上のために、地元の方々との交流を深めて地域の介護向上を進めていきたいと願っている
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	毎年、夏季にはご家族を招待して納涼大会を開催し、利用者及びご家族と地域住民との交流を進めている。又、写真入りのホーム便りを毎月発行し、ホームでの行事、生活状況の報告をしている。更にボランティアの社会福祉士の訪問を不定期に受け、専門職の立場で利用者の聴き取りを行って頂き、より良い介護に向けて活かしている
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	幼稚園、小学校の行事にはお招きを頂いて、一同参加しているが、公民館での舞踊の発表会や各種の展示会等にも出席させて頂いている。又、岬町唯一のグループホームでもあるので、クリニックやデイサービスの受診者のご家族から、認知症の対応のしかたについてご相談を受けている

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	認知症の要介護者に、家庭的な環境で食事、排泄、入浴、睡眠の介護と、残された身体機能を活用した日常生活ができるようにとの理念を掲げている		
2	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	経営理念を玄関と事務コーナーにも掲示し、意識付けを行っている	○	先ず職員一同に経営理念を日常活動に活かすことが出来るよう、毎日の活動の中で働きかけて欲しい
2 地域との支えあい					
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	岬町唯一のグループホームでもあり機会ある毎にホームの存在を知って頂けるよう努めている。また、招かれた発表会、展示会等には出席させてもらっている	○	地道な日常活動を続けて交流を進めて欲しい
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、計画作成者、職員は評価の意義を十分理解し、評価結果を介護の向上に活かすように努力している		
5	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	運営推進会議では、グループホームでの認知症への取り組み状況を出来るだけ具体的に情報公開している。伝統的な雰囲気のある地域であり、住民の方々から出来るだけ福祉活動の情報公開を進め、ホームの活動内容を理解して頂けるよう努力している		
6	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	岬町唯一のグループホームであるので、町職員とは機会ある毎に相互の連絡交流ができています。また各種の情報を頂いて参考とさせていただいている		
4 理念を実践するための体制					
7	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	毎月写真入りの「便り」を発行して届けている。夏には納涼会を開催してご家族、地元との交流を行っている		
8	15	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の来訪時には、職員が詳細な状況を伝えている、又、ご意見、苦情等については、管理者が適宜に対処している	○	口腔ケアについてのご家族の苦情があったので、対応を進めて欲しい

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9 18	○ 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の定着化を図るため、介護スタッフの常勤化を進めているので、異動は少ない。又、新入の職員は、暫くの間、オリエンテーションの期間として習熟度を高めており、利用者への影響を少なくするよう配慮している		

5 人材の育成と支援

	10 19	○ 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の研修はホーム内の月例会議等で、資料等を配布した上で、実施している。外部研修会への出席は適宜実施しているが、昨年度は職員3名が介護福祉士の資格を取得し、今年度も受験予定者が研修中である		
	11 20	○ 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている	計画作成担当者が地域の事業者との窓口となって、相互訪問や勉強会等へ出席している		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12 26	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験利用をしてもらい、本人、ご家族、ホーム側とも納得の上で入所してもらっている		
--	-------	--	---	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13 27	○ 本人と共に過ごし、支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日中は殆どの利用者の皆さんと職員が、共同で日常生活をおこなっている		
--	-------	--	-----------------------------------	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14 33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員をお一人の主担当と定め、その方の日常生活で、他の職員が把握した言動の記録も含めて、シートに集約をしている		
--	-------	---	--	--	--

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15 36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	上記の職員による一人ひとりの記録を基として、新たな計画を作成している。これによって本人、家族、担当職員、医師等の3者協議による新計画を決定している		
--	-------	--	---	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	介護計画の期間内でも、見直しの必要が出て来れば、本人、家族、職員、医師等の協議により計画変更を行っている		
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の方々の必要に応じて、ホームで出来る範囲内での支援を実施している		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	当ホームの協力医療機関の医師に毎週、往診して頂いているので、本人はもとより、ご家族も安心していただいている		
19	47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化または終末期のあり方については、ご家族との話し合いを、主治医をまじえて行っており、原則として利用を想定していない。	○	利用者の利用期間の長期化に伴い、いろいろな事態の可能性もあるので、職員との情報交換を日常化しておいて欲しい
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	一人ひとりの利用者の方々の、特に個人名の情報に配慮した対応をしている		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	手芸や工芸の趣味の方がおられ、夫々の作業を楽しんでおられる。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューは職員が分担して作成している。食事の手伝いは出来る範囲のことを、利用者にも自由にやらせてもらっている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		入浴は日常の手順に出来るだけ従っていただくようにしている。又、体調に応じて利用できる風呂場の設備をしている

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		折り紙、モールを用いた装飾、手芸品、カラオケ等の趣味を活かした楽しみごと、床拭きやプランター等の水遣りと言った役割を、分担してもらっている
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		天候や健康状態によって適宜、近所の散歩の支援をしている

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		職員は、日中の鍵掛けが利用者の心理的圧迫感に繋がらないように配慮している。しかし現在、不穏な方がおられるので、已むなく鍵掛けが行われている
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		緊急時の避難対応については、隣接しているクリニック及びデイケアと共同しての避難場所や搬送について協議済みである

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		個人毎の食事摂取量については、個人ごとに対応している。又、症状により医師の指示に沿っている
--	----	----	---	--	---

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		高齢者福祉について配慮された新築で採光、室内壁面も落ち着いた雰囲気となっている
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		居室には洗面器、トイレがあり生活がし易い設計となっている。又、利用者が使い慣れた道具類を持ち込んでいる